

グループ展

長ぐつと すべり台

9/15-22

13:00-18:00

入場無料

休場日：9/17-19

最終日 16:00 まで

会場：アトリエももさだ 多目的ホール

本展示は、大学院修士1年3名それぞれが新作インスタレーションを発表するグループ展です。異なる要素が交わるという作品テーマの共通点から、「摩擦」というキーワードを本展示の視点の1つとして設定しました。「長ぐつとすべり台」から感じる抵抗のように、間で生まれるものに触れていただくことができれば幸いです。

【関連イベント】

・ギャラリートーク : 会期中全日開催 15:00

参加作家が会場に在廊し、作品についてお話しします。お気軽にお越しください。

・パフォーマンス上演 : 会期中全日開催 13:30 / 17:00 (予定)

山本によるパフォーマンスを上演します。開催時刻は変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

- 参加作家 -



川口朱徳 | Ayano Kawaguchi

秋田公立美術大学 複合芸術研究科 修士1年

秋田公立美術大学 景観デザイン専攻 卒業

学部生の頃は建築デザインを学び、歴史や文化等の背景に触れ、その文脈を読み解いた空間を設計し、風景の再構築を提案してきた。今回の展示では、「形骸化」に着目し、建築と身体の関係性を探り、人々の意識下に眠る風景を想起させる空間設計を試みる。



佐藤若奈 | Wakana Sato

秋田公立美術大学 複合芸術研究科 修士1年

秋田公立美術大学 ビジュアルアーツ専攻 卒業

生き物の無作為な動きから、不規則な映像を生成する装置を制作する。

動きに実際には存在しない形（イメージ）を与えることで意味を見出し、認識する / してしまうヒトの認知を表現する手法の実践と効果の考察を行う。



山本夏綺 | Natsuki Yamamoto

秋田公立美術大学 複合芸術研究科 修士1年

京都精華大学 立体造形専攻 卒業

生活の中で目にするものをモチーフに立体や映像などで装置を作り、それらと鑑賞者と出会う場所としてインスタレーションを制作している。スケールを変えたり、起源を探ってみたりと、対象との自身の関係性を変化させながら、その「距離感」を示そうと試みる。